

秋の火災予防運動

実施期間 令和7年 11月9日(日)～15日(土)

火事が
増えて
います!

僕も
本気だぞう～



北九州市消防局マスコット「消すぞう君」

ガチ
本気ゾウ君
です!

本気の予防、今こそ。

全国で増加中! ⚡

リチウムイオン 電池火災



- 発熱・膨張などの異常がある場合は使用しない。
- 熱くなる場所に放置しない。
- 落下等による衝撃や、水濡れに注意する。
- 分別ルールに従って廃棄する。

飲食店だけでなく
家庭でも多く発生 ⚡

こんろ火災



- こんろを使うときは火のそばを絶対に離れない。
- 周りに燃えやすいものを置かない。
- 少量の油での揚げ物は、急激に油の温度が上昇し発火する恐れがあるので注意する。

灯油ストーブだけでなく、
電気ストーブからも火災発生 ⚡

ストーブ火災



- 周りに燃えやすいものを置かない。
- 安全装置のついた機器を使用する。
- 外出時や就寝時はスイッチを切る。

たばこ



電子たばこが普及していますが、依然としてたばこを原因とする火災が後を絶ちません!

- 吸い殻を灰皿に溜めない。
- たばこの投げ捨てや寝たばこは絶対にしない。

林野火災



林野火災の約75%は火の不始末によるものです!

北九州市の火災統計より (H27~R6)

- たき火の後には、完全に消火したことを確認する。
- 強風時や乾燥時には、たき火をしない。

放火



センサーライトなどで家のまわりを明るくすることも有効です!

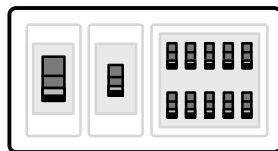
- 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ごみは決められた日に決められた場所に出す。

地震による火災

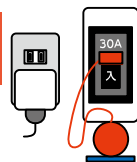
なぜ地震の際に火災が発生するか?

- 暖房器具の転倒によって、可燃物へ接触し出火する。
- 停電復旧時に、破損した電気配線がショートし出火する。

分電盤タイプ



簡易タイプ



地震による火災の多くは電気が原因です。地震の揺れを感知して、自動的に電気を止める感震ブレーカーの設置が効果的です。

命を守る住宅用火災警報器

設置は義務です!



住宅用火災警報器3ヶ条

①月に1回の「点検」



②半年に1回の「清掃」



③10年経ったら「本体交換」

さらに安心

「無線式連動型」



消防隊が設置・交換のお手伝い

65歳以上の高齢者のみの世帯などで、住宅用火災警報器の設置が困難な場合、消防隊が設置や交換のお手伝いをします。事前に住宅用火災警報器を準備(購入)の上、お近くの消防署に御連絡ください。



秋の火災予防運動メインイベント

ガチヨボ「本気 予防」開催

日時 11月15日(土) 10~15時 場所 魚町みらい広場(小倉北区魚町一丁目) ※旧鳥町食道街

火災予防の意識を「みらい」につなぐため、市内の学生と共にダンスステージや体験型ブースなどの火災予防イベントを行います。

イベントの詳細はこちら

- 文字探しラリーと火災予防ビンゴゲームで小倉牛を当てよう!
- 地震体験車に乗ろう!(12時から先着60人)



門司消防署 372-0119 若松消防署 752-0119 戸畑消防署 861-0119
小倉北消防署 582-0119 八幡東消防署 663-0119 消防局予防課 582-3836
小倉南消防署 951-0119 八幡西消防署 622-0119

北九州市消防局 北九州市市民防災会総連合会 北九州市消防協会 (一社)北九州市防災協会

火災予防についての動画はこちら

